

地域移行の進め方・方法

- ・R7 年度末までを「**地域への移行期間**」とし、部活動を学校から切り離すための準備期間とする。
- ・可能なところから競技クラブを開設し、R8 年度からの休日部活動の「**地域移行完了**」を目指す。

① 地域への移行期間（～R7 年度末）

【概要】

- 状況 : 休日に《部活動》と《クラブ活動》が共存している状態
随時、できるところからクラブを開設し、地域に移行する。
- 参加制度 : 部活動 … 現状どおり、全員参加制を推奨
クラブ活動 … 希望者による自由参加制
生徒が希望しないのであれば、参加しないという選択も有り
- 受け皿 : えちぜんスポーツクラブ
- 受益者負担 : 部活動は現状どおり実施。以下はクラブ活動の負担内容
費用 … 国・県の補助金次第で調整。R8 年度を見越して一部徴収したい。
送迎 … 保護者による送迎
- 指導者 : 部活動 … 教員、部活動指導員 クラブ活動 … 地域の指導者

【実施事項】

・対応方法

休日の活動の指導者確保が出来次第、えちぜんスポーツクラブでクラブを開設
⇒ 町内全中学校を活動単位とし、参加希望者を募集し活動を開始する

・週当たりの活動状況（例）

(現 状)							(移行期間)						
月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
休	部活	部活	休	部活	部活	休	休	部活	部活	休	部活	部活 又は クラブ活動	休
《平日3日+休日1日の部活動》							《平日3日の部活動+休日1日 部活動又はクラブ活動》						

・活動頻度

最大月4回。状況によって月1回から始め、徐々に頻度を増やしていく。

部活動：クラブ = 4回：0回 ⇒ 3回：1回 ⇒ 2回：2回 ⇒ 1回：3回 ⇒ 0回：4回

・開設クラブ

町内中学校の全部活動競技

※R6 年度：モデル競技を選定し、地域移行に向けた実証事業を行う。

・その他（地域移行を見越した体制づくり）

休日部活動において、教員は出勤せず、部活動指導員のみの指導日を設ける

※全 32 部活動のうち 13 人の指導員を配置（R6. 4 現在）⇒ 各部活動の任意で実施

② 地域移行完了 (R8 年度～)

【概要】

- 状況 : 休日は部活動が廃止となり、クラブ活動のみ
- 参加制度 : 希望者による自由参加制
- 受け皿 : A えちぜんスポーツクラブに一元化 … 統一、公平な運営が可能
B 任意団体による独立した活動 … 受益者負担に格差
- 受益者負担 : 費用 … 会費徴収 送迎 … 保護者による送迎
- 指導者 : 地域の指導者

【実施事項】

・ 対応方法

休日における学校部活動を廃止とし、休日はクラブ活動のみの体制とする

・ 週当たりの活動状況 (例)

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
休	部活	部活	休	部活	クラブ活動	休

《平日3日の部活動+休日1日のクラブ活動》

クラブによって、曜日、時間帯が異なる場合がある

・ 開設クラブ

町内中学校全部活動 + 要望が多い新規活動の開設検討 (バスケットボール、バドミントン)

・ その他

- ▶ 平日の部活動は、当面の間、学校教員が顧問となって現状どおり実施する
- ▶ 「部活動の地域移行」にあたり発生した問題は、都度協議のうえ解決に向けて取組む (現時点での想定課題)
 - ▶ 大会への出場について (部活動として出場? クラブ活動として出場?)
 - ▶ 人数が足りず、クラブ活動が成り立たない場合について

【参考：町内中学校部活動の現状について】 (R6.5 現在)

種目\中学校	朝日中	宮崎中	越前中	織田中
剣道	○ (男女)			
バレーボール	○ (男女)	○ (男女)	○ (男女)	○ (男女)
ソフトテニス	○ (男女)			
卓球	○ (男女)	○ (女)	○ (女)	○ (男女)
軟式野球	○	○	○	○
ホッケー	○ (男女)			○ (男女)
吹奏楽	○	○	○	○
美術	○			
陶芸		○		
9種目	32部活動			

参加率

町内全域中学生 513人
 学校部活動加入 461人
 クラブ活動所属 50人
 無所属 2人

モデル事業の実施について

【概要】

<ul style="list-style-type: none"> ▶ R6 年度末まで、月1回程度、部活動競技の中から選定したモデル種目を試験的に移行する。 ▶ モデル競技は、「ソフトテニス」「ホッケー」「軟式野球」の3種目とする。 ▶ 対象は、町内中学校の全生徒 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 希望者による自由参加制とする。モデル競技外の部活動生徒の参加を妨げない。 ▶ 受益者負担について <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 費用負担は、原則無し(会費、保険料など)。送迎は、保護者にお願いする(乗り合わせなど)。 ▶ 部活動の顧問教員とクラブ指導者間で、練習内容や指導方法の共有をしてもらって実施する。 ▶ 参加者各位(指導者、生徒)にアンケートを実施し、問題点等の改善に努める。 ▶ 実証事業を参考としながら、今後の地域移行に係る取組に向けた各種課題を検討する。 (えちスポの運営体制、指導者となる地域人材の確保と調整、会費の調整など)
--

【直近スケジュール】

月	検討委員会	モデル競技実証事業に向けて		その他	
		教育委員会	えちスポ・コーディネーター	教育委員会	えちスポ・コーディネーター
10	【第3回】 地域移行の考え方 進め方 ほか	【実施に向けた調整】 指導者、学校との協議調整 実施日・活動場所の調整 参加希望生徒、保護者向け説明会 参加募集とりまとめ			
11		【実証事業の実施】 ソフトテニス・ホッケー・軟式野球の3種目。 月1回、年度内に計5回程度を実施予定		【モデル競技外のクラブ開設に向けて】 剣道・卓球・バレーボール・吹奏楽 および 新規活動の検討 指導者、学校との協議調整 実施日・活動場所の調整 参加希望生徒、保護者向け説明会 参加募集とりまとめ 「地域移行完了」に向け、 体制整備のための検討 (会費設定、指導者採用 要件など)	
12					
1	【第4回】 実証事業状況把握 進捗状況報告 ほか	実証事業の状況と 問題点の把握 ↓ 改善案の模索 ↓ 検討委員会に報告	モデル実証事業の実施 生徒、指導者にアンケート ↓ 検討材料として把握 ↓ 状況を教育委員会に報告		
2					
3					
4	【第5回】 実証事業総括 全体進捗報告 ほか	【地域への移行期間】 ・部活動競技のできるどころからクラブを開設する ・それぞれのクラブの活動頻度を徐々に増やしていく ・都度、問題点の解決に向けた協議を進める			
5					

モデル競技部活動について

【ソフトテニス】

- | | |
|---------------|--|
| □種目がある学校 | 朝日中 |
| □加入状況(想定参加人数) | 男 … (1年生) 11人 + (2年生) 10人 = 21人
女 … (1年生) 9人 + (2年生) 3人 = 12人 |
| □選定理由 | 部活動指導員の配置があり、指導者確保の目途が立ちやすい。
えちスポに開設実績があり、現在活動している。 |
| □活動日 | 原則、土曜の午前 |
| □活動場所 | オタイコ・ヒルズテニスコート (又は 朝日中を活用。雨天、冬季は室内で実施) |
| □指導者 | 男女それぞれ2人確保予定 |

【ホッケー】

- | | |
|---------------|---|
| □種目がある学校 | 朝日中・織田中 |
| □加入状況(想定参加人数) | 男 … (1年生) 11人 + (2年生) 10人 = 21人
女 … (1年生) 8人 + (2年生) 10人 = 18人 |
| □選定理由 | 教員の指導希望、部活動指導員の配置があり、指導者確保の目途が立ちやすい。
えちスポに開設実績があり、現在活動している。 |
| □活動日 | 原則、土曜の午前 |
| □活動場所 | 町立ホッケー場 (又は 朝日中 又は 織田中を活用) |
| □指導者 | 男女それぞれ2人確保予定 |

【軟式野球】

- | | |
|-----------------|--|
| □種目がある学校 | 朝日中・宮崎中・越前中・織田中 |
| □部活動の状況(想定参加人数) | (1年生) 13人 + (2年生) 18人 = 31人 |
| □選定理由 | 部活動指導員の配置があり、指導者確保の目途が立ちやすい。
現在、朝日中・越前中・織田中で合同部活動を実施している。 |
| □活動日 | 原則、土曜の午前 |
| □活動場所 | 宮崎中グラウンド (又は 織田中を活用。雨天、冬季は室内で実施) |
| □指導者 | 3人確保予定 |

【その他】

- ・活動日、活動時間は、指導者の都合等で変更になる場合がある。
- ・モデル競技外の生徒参加の際、ラケット等の道具について、原則自分で準備するものとする。
- ・指導者として教員の参加希望がある場合、兼職兼業の手続きをとったうえで参加する。